

「3Wインキマーク」披露

カーボンオフセットやC



3Wインキマーク

水溶性UVインキを示す
環境ラベル「3W(Water Washable Waterless UV Ink)インキ
マーク」を披露すると
水なしLED-UV印刷
の手法を確立したキング
印刷、▽3W印刷のテス
トユーザーの精英堂印刷
㈱——の工場見学会を開
催した。

VOCフリー化実現

精英堂印刷

田畠会長

業方針として、水なし印刷の魅力を世間に広め、ひいては会員数増加につなげることを目的に“WISH”と設定した。この“WISH”は4つの

「WISH」の具体的な内容として、▽Wは、水なし印刷の環境優位性を展示会などで広めて、水なし印刷指定の仕事を増やしていく、▽Iは、ることを発表。さらに①湿し水、②インキ、③洗浄剤——というオフセット印刷工程でのVOC発生要素において、①水なし印刷②UVインキ、

いることによってVOCフリー化を実現する、水なしUV印刷システムのテストユーザー。このシステムは、▽湿し水を用いない水なし印刷、▽V

ンキ原料を使ったUVインキ—という要素により、オフセット印刷工程においてVOCフリー化が実現できるもの。

刷版には通常の水なし

精英堂印刷での3W印刷の実演のようす

の全面に銀イオンを事前印刷したものへの4色印刷の2ジョブを行い、印刷品質、乾燥性、色合わせ損紙などは、通常のUV印刷とまったく変わらないことを紹介。そしてジョブ替えでのイオン洗浄時にVOC測定器で計測したところ、約40ppm（元々工場内に残留している分）のまま数値は介される。

“水なし”の営業強化

キング印刷

キング印刷では、稼働する5台19胴すべての印刷機でLED—UV印刷を行っており、㈱小森コーポレーション製の菊半裁4色機「リスロンG26—4」を水なしLED—UV印刷専用機に、ハイデルベルグ製の菊全判4色機「スピードマスターCX102—4」とリヨ—ビMHイグラフィックテクノロジ（株）製のA3判縦通し2色機「340HA—2」を水なし／水あり兼用LED—UV印刷機として運用している。

の立て直しを図っている最中。それ以前は軽オフ機を中心に16台の印刷機を有していたが、それを5台に集約。印刷オペレーター歴が数年という若い力、そして最新鋭の印刷機と技術をもって活路を見出すべく、すべてをLED—UV印刷化。その後に水なし印刷に取り組み始めたことから、必然的に水なしLED—UV印刷を手掛けることとなった。今後もキング印刷では水なし印刷についての営業を強化し、積極的に増やしていく方針を

同社は平成23年に発生した東日本大震災および原発事故によって壊滅的な打撃を受け、現在もその目である商業印刷のほかパッケージ印刷分野にも踏み出している。

特集 CTPで変わる印刷環境